



# 普連土学園校友会報

第 **100** 号

平成30年(2018年)7月31日

発行：普連土学園校友会

住所：〒108-0073 東京都港区三田 4-14-16

E-mail：friends@f-koyukai.com

責任者：富山恵子

T E L：03-3451-7700

F A X：03-3451-1959

## 校友会報100号発行に寄せて

普連土学園校友会会長 富山 恵子

目次
総会
100号記念特集
小池幸先生の思い出
フロイド・シュモー
普連土より
関西支部
新任幹事紹介

校友生の皆さん、年2回お手元に届く『校友会報』を読んでいただいていますか。この会報は、今号で100号となりました。

昭和41年12月25日に創刊号である『普連土学園校友会たより』(タブロイド版新聞形式)が発行され、2号からは現在の形状となり、タイトルも『普連土学園校友会報』と改め、年2回発行されるようになりました。

### ◆創刊の目的と願い

戦後20年を経て、高度成長が始まろうとしていた時、校友会も全校友



会報1～99号(校友会室保存)

生に学園と校友会の情報を提供したい、校友生同士の経験を分かち合い、情報の交換を行い、校友生間の絆を深め、母校の復興を共に支えていきたい、との目的と願いから発行にいたったと、『校友会史』に書かれています。

### ◆創刊にいたる準備のアレコレ

発行までの準備と定着までについては、「当時校友会副会長であった大野佐喜子さん(39回生)の熱心と計画性によるものであった」と、当時の石田トシ会長が書いていらつしゃいます。大野さんの回想録を読んでみますと、発行までの苦労と努力と情熱がひしひしと伝わってきます。仕様を決め、資金を集め、幹事総動員で発送作業を行い、資金不足を補うために会報に広告も掲載。また、題字は当時80歳の高橋



高橋よねさん



大野佐喜子さん

よねさん(20回生)が校友会の発展と存続を願って、毛筆の横書きはむずかしいと何度も書き直されてお書きくださったとあります。

### ◆会報送付数について

創刊当時の校友生への送付数は国内、国外を合わせて3000余と記されています。ちなみに、現在の送付数は7000を超え、創刊当時から比べ、2倍以上の校友生が国内外で活躍しています。

### ◆校友生のみなさんへのお願い

会報は創刊から現在にいたるまで、出版委員の皆さんの努力と多くの時間を費やすという奉仕のもとに作成、発行されています。会報が届いたら是非読んでください。そして、会報に掲載する情報や、意見・感想を寄せてください。また、興味のある方は是非、出版委員に手を挙げてください。



会報創刊頃まであった中学校舎

そして会報が次代に受け継がれ校友会の歴史を繋いで行くよう皆さまの協力を心から願っています。

2018年度

# 校友会総会

6月2日  
(土)  
11時~14時30分  
●新渡戸稲造  
ホール(旧講堂)  
●ロースホール  
●出席者  
127名

2018年度校友会総会は、6月2日(土)母校の講堂で行われました。議案は全て承認されました。

この日は梅雨入りが心配されましたが快晴に恵まれました。

第一部 総合司会副会長赤木まき子

奏楽 酒井 恵生

礼拝 会長 富山 恵子

讚美歌 452番 533番

聖書「ピリピ人への手紙」

第13章4節~9節 畠中ルイザ

普連土学園理事長挨拶 畠中ルイザ

普連土の卒業生は人の為に何かをする姿勢が身につけています。

医者、歯医者、薬剤師等、多くの

方々が学校のために働いて下さっています。

女子校は最近あまり人気が無く、

男女共学校の人気が高いのです。子供の数も少なくなっています。これからますます私立学校間の競争が激しくなっています。

普連土の良い教育を守っていくためにも、時代に合った教育環境を整え、充実させる必要があります。その為「種まきファン」を立ち上げ

寄付を募っています。今までも多くの方が寄付をしてくださいましたが、今後とも協力をお願いいたします。

学校報告 校長 青木 直人

27年振りに普連土に戻って来て1年たちました。

今年の3月3日ホームカミングがあつて、98回生の懐かしい生徒達と

思い出話をした時生徒達が覚えていたことは、覚えてほしかった大事な

ことではなく、教師が何気なく口にした言葉でした。教師の言葉には影

響力があり責任があると身の引き締まる思いがしました。

世間でAIが職業をとって代わると盛んに言われていますが、「全員

一致は悪魔の仕業」というユダヤのことわざがあります。人間は一人一人違う、全員一致は有り得ません。

対話によりより良い道を見つける。周りに影響されないブレない能力を身に付ける。自分のためだけでなく、他人のために能力を使う。それがキリスト教の学校の教育であり役目であり

事務会議事 司会副会長赤木まき子

2017年度年次報告

副会長 赤木まき子

総会 6月3日 138名

親睦会 ロースホール 133名

映画鑑賞会「ポー川のひかり」

6月24日 37名

バザー 11月11日 後援会と共催

校友生の当日手伝い 162名

クリスマス礼拝12月9日108名

講師 青木直人先生

「天使を見る目」

語りの会 2月24日 37名

出演者 上月麻美(伊藤真弓)さん

ホームカミング 3月3日

学園と共催 133名 先生16名

出版「会報」98号・99号発行

お祝い贈呈

4月 新入生に校章入りタオル

9月 敬老祝いに絵葉書セット

3月 卒業生に小袱紗

2017年度会計決算報告

会計 廣田 雅子

2017年度会計監査報告

監事 辻 あき江

2018年度年次計画

副会長 赤木まき子

総会 6月2日(土) 11時より

新渡戸稲造ホール・ロースホール

バス旅行10月4日(木) 箱根方面

バザー11月10日(土)後援会と共催

クリスマス礼拝12月8日(土) 11時

A音楽室・親睦会12時

落語の会 2月23日

出版「会報」100号・101号

発行予定

お祝い贈呈

4月 新入生に校章入りタオル

9月 敬老祝いに絵葉書セット

3月 卒業生に小袱紗

2018年度会計予算

会計 廣田 雅子

役員改選 指名副委員長 勝田公恵

(新任) 書記 押尾雅代 96回

(退任) 書記 浅見裕子 95回

指名委員交代 会長 富山 恵子

(新任) 鈴木 道 69回

浅見 裕子 95回

委員会委員紹介 会長 富山 恵子

同好会紹介 会長 富山 恵子

ミニコンサート

【伊藤文枝先生とコーラス部】

伴奏 酒井恵生先生

コーラス(家族写真他2曲)

伊藤先生(下ナドナ他3曲)

コーラスはハーモニーが綺麗でした。伊藤先生の清らかで暖かい歌声に会場は引き込まれました。

第二部 親睦会

ロースホールにて行われました。

普連土学園校友会2017年度収支決算書

(2017年4月1日～2018年3月31日)

■収入の部		(単位：円)	
科目	予算金額	決算金額	備考
会費	4,560,000	4,652,000	高校生校友会費(387名+8000円)
運営費	5,500,000	5,426,284	校友生納入分 (2170.5口)
バザー収益	1,000,000	1,298,059	
130周年記念品収益	100,000	368,663	
奉仕活動協力金	200,000	265,198	幹事会時献金、事業委員会献金、クリスマス献金
寄付金収入	0	39,897	
雑収入	10,000	77,663	グッズ・コピー・タックシール代、施設使用料他
雑受取利息	100	113	預金利息
収入計	11,370,100	12,128,077	
■支出の部		(単位：円)	
科目	予算金額	決算金額	備考
総会費	300,000	179,490	謝礼、お花代 他
諸会費	100,000	66,473	幹事会お茶菓子代 他
人件費	1,400,000	1,158,450	事務手当 他
委員会活動費	450,131	450,131	事業・出版・バザー
130周年記念品	270,000	287,294	クリアファイル、透明封筒、学園関係者記念品贈呈
ホームカミング費	30,000	7,000	第4回ホームカミング
通信費	2,200,000	1,995,113	会報98号-99号、幹事会・総会連絡費 他
印刷費	800,000	759,105	会報98号-99号、総会案内 他
消耗品費	750,000	518,900	事務用品、PC-機リース代及び保守代 他
光熱水費	360,000	360,000	
交際費	500,000	528,502	
電話料	300,000	262,574	電話、FAX通信料、ネット回線使用料
慶弔費	600,000	475,435	卒業祝、お悔やみ花カード 他
支部連絡費	40,000	40,000	関西支部
クリスマス礼拝	130,000	97,359	お花代、親睦会費用、講師謝礼 他
奉仕活動費	200,000	320,520	年間奉仕活動、クリスマス献金、北九州災害義援金
同好会補助費	120,000	120,000	コース部・聖書の会
支払手数料	250,000	230,334	運営費の振込手数料 他
雑費	20,000	12,598	振込手数料 他
基本金積立	1,000,000	1,000,000	
特別積立	1,000,000	1,000,000	
奨学金積立	0	0	
予備費	300,000	0	
支出計	11,330,000	9,869,278	
差引額(収入-支出)	40,100	2,258,799	
前年度繰越金	4,894,770	4,894,770	
次年度繰越金	4,934,870	7,153,569	

会計監査の結果、適正であることをご報告いたします。

2018年4月17日  
監事 辻あき江 印  
監事 熊澤勢子 印

2017年度特別会計収支決算書

(2017年4月1日～2018年3月31日)

収入		支出	
科目	金額	科目	金額
●基本金積立(校友会積立金)			
前年度繰越金	15,354,380		
経常費より	1,000,000		
寄付金積立より	4,437,911		
名簿積立より	1,782,418		
利息	164	次年度繰越金	22,574,873
合計	22,574,873	合計	22,574,873
●特別積立(学園への寄付金積立)			
前年度繰越金	11,480,344		
経常費より	1,000,000		
利息	97	次年度繰越金	12,480,441
合計	12,480,441	合計	12,480,441
●奨学金積立			
前年度繰越金	12,056,744		
奨学金返済	830,000	次年度繰越金	12,886,744
合計	12,886,744	合計	12,886,744
●校友会への寄付金(校友生等からの寄付金口座)			
前年度繰越金	4,437,911	基本金積立へ	4,437,911
利息	0	次年度繰越金	0
合計	4,437,911	合計	4,437,911
●名簿積立			
前年度繰越金	1,782,418	基本金積立へ	1,782,418
利息	0	次年度繰越金	0
合計	1,782,418	合計	1,782,418



普連土学園校友会2018年度予算書

(2018年4月1日～2019年3月31日)

■収入の部		(単位：円)	
科目	予算金額	備考	
在校生会費収入	4,680,000	高校生校友会費 390名	
卒業生運営費収入	5,500,000	校友生納入分 @2,500×2,200口	
バザー収益	1,000,000		
奉仕活動協力金収入	200,000	幹事会時献金、クリスマス献金 他	
寄付金収入	0		
雑収入	50,000	タオル・コピー・タックシール・施設使用料 他	
雑受取利息	50	預金利息	
前年度繰越金	7,153,569		
合計	18,583,619		
■支出の部		(単位：円)	
科目	予算金額	備考	
総会費	300,000	謝礼、お花代 他	
諸会費	100,000	幹事会お茶菓子代 他	
人件費	1,400,000	事務手当 他	
委員会活動費	660,000	事業・出版・バザー	
ホームカミング費	10,000		
通信費	2,100,000	会報100号-101号、幹事会・総会連絡費 他	
印刷費	900,000	会報100号-101号、総会案内 他	
消耗品費	700,000	事務用品、PC-機リース代及び保守代 他	
光熱水費	360,000		
交際費	500,000		
電話料	300,000	電話、FAX通信料、ネット回線使用料	
慶弔費	500,000	卒業祝、お悔やみ花カード 他	
支部連絡費	40,000	関西支部	
クリスマス礼拝	130,000	お花代、親睦会費用	
奉仕活動費	200,000	女性の家ヘルプ、CFJ	
学園宗教部への献金	0	クリスマス献金	
同好会補助費	120,000		
支払手数料	250,000	運営費の振込手数料 他	
名簿管理ソフト移行費	130,000		
雑費	20,000	振込手数料 他	
基本金積立	1,000,000		
特別積立	4,000,000		
奨学金積立	0		
予備費	300,000		
次年度繰越金	4,563,619		
合計	18,583,619		

2018年度特別会計予算書

(2018年4月1日～2019年3月31日)

収入		支出	
科目	金額	科目	金額
●基本金積立(校友会積立金)			
前年度繰越金	22,574,873		
経常費より	1,000,000		
利息	150	次年度繰越金	23,575,023
合計	23,575,023	合計	23,575,023
●特別積立(学園への寄付金積立)			
前年度繰越金	12,480,441		
経常費より	4,000,000		
利息	90	次年度繰越金	16,480,531
合計	16,480,531	合計	16,480,531
●奨学金積立			
前年度繰越金	12,886,744		
奨学金返済	540,000	次年度繰越金	13,426,744
合計	13,426,744	合計	13,426,744



上 青木先生の学事報告  
左 伊藤先生とコーラス部

# 交友会報の変遷



会報発行に尽力された石田トシ先生  
(当時の校友会長)



第1号のみタブロイド判だった

## 成り立ち

記念すべき校友会報第1号は1966年12月に発行されました。当時、会報の発行には大変な努力が伴いました。印刷は校友生に格安で引き受けていただき、発送作業は幹事を総動員し、宛名書き、会報折り、切手貼りなど大変な労力でした。また切手節約のために手渡してできる人の分を持ち帰り配って歩いたそうです。



経費削減のため葉書通信になった号も



創刊当初は和室で会議をしていた。イメージ図：浅見歩さん(高3作)



第1号発行当時の校舎全景(1968年)



100周年記念館竣工(1990年)



懐かしい以前の校友会事務所

企画段階(1988年)の完成予想図



1982年に竣工した高3校舎と小体育館

## 元出版委員に聞きました

60～69号に参加

村田富美江さん(75回生)

当時、出版の作業は和室かホワイエ横で行っていて、校内で習ったことのある先生にばったりお会いするのが楽しかったです。最も印象に残っている事は、与謝野宇智子先生のお宅に伺い一緒に散歩をしながらインタビューしたことです。



写真に見る

# 普連士学園と校友



ミス・ローズの来日は毎回大きな記事になった。これは90周年式典にご出席されたときの様子



屋上庭園



テラスより



120周年記念本校舎完成の際は、会報（77号）でカラーページが組まれた

## 内容の変化

創刊当時の会報は、各クラス（学年）の消息記事が多くありました。時代を反映し生活に密着した内容が多く、よろず相談、お見合い、子育て相談の窓口などもありました。学園の周年に合わせて建設されてきた校舎の献堂式は、

毎回一面で大きく伝えられました。

活躍する校友生紹介は、以前は先生方に寄せられる情報から校友生を訪ねインタビューしていましたが、現在は様々なルートを使って情報を集める努力をしています。

今ではほぼ使われなくなった校友会報オリジナル原稿用紙



学園の史料室より貴重なお写真をお借りした

## 元出版委員に聞きました

44～65号に参加  
大沢三和子さん(67回生)

様々な分野で活躍する校友生の情報を集めるのに苦労しました。チラシを作って幹事会で配り協力を求めました。情報をいただく、直接会いに行き取材をしました。



山中湖寮での修養会の様子も毎回伝えられた



110周年記念館竣工(1995年)校友会のクリスマス礼拝などで利用しているA音楽室



# 小池幸先生の思い出



昨年8月25日、1950年から1996年まで、休職期間を除き約39年間体育の教鞭をとられた小池幸先生が97歳で逝去されました。ご冥福をお祈りいたします。お手玉やラジオ体操でおなじみの小池先生の思い出を様々な年代の校友生にお寄せいただきました。



95 回生 中1 キャンプ

◆先生は授業中とにかく厳しく、美しくなるための「美容体操」では体を深く曲げないと必ず注意されていました。授業以外では優しく、よく挨拶をしてくださいました。その髪型から「ライオン」のあだ名で呼ばれていました。

(66 回生)

◆卒業して2年後くらいに上野で偶然お会いしました。

◆当時デイスコ全盛期で、私も職場の人に誘われていくところでしたが、先生には早く帰宅するように指導されました。卒業しても先生には気にかけていただいて、ものすごく嬉しかった覚えがあります。

◆私は卒業後の6年間、今は懐かしい山中湖寮で賄いのアルバイトをしておりました。先生は私たちと一緒に料理の腕を振るってくださいました。時に「バカたれ!」と注意されることもありましたが、宿泊客がない夜には先生と一緒に八角堂でフォークダンスを踊ったことなど、よい思い出です。厳しかったけれど思いやりのある先生でした。

◆授業で常にフォークダンスの相手としてブンブン振り回されておりました。あの時すでに先生は還暦を過ぎていたと知り驚愕です。

(100 回生)



96 回生 中1 キャンプ

## フロイド・シュモーター

### 広島の家番号組

財務理事 大津 光男

広島に平和記念資料館附属展示施設「シュモーターハウス」がある。クエーカーの森林学者フロイド・シュモーターが終戦直後ワークキャンプで建てた住宅の一軒で、被爆からの復興を後世に伝える建物として広島市が移転、補修改装したものである。



シュモーター富子さん(中央)・富山恵子会長(右)と

その番組制作に当たりディレクターは取材のため富子さんや元学園理事長布川角左衛門と校友会長布川きみの子息で同キャンパーの布川謙さんらを訪ねたが、ミス・ローズ、ギルバート・ポールズ、ニコルソン、ヴァイニング夫人らに関する資料収集のため学園史料室にも来校した。どんな番組になるかは知らないが、F・シュモーターの広島の家における活動をメインとする番組の陰には校友生や普通土学園と大きなつながりがあることをお知らせしておきたい。

昭和23年夏広島で原爆の惨状を目にし、ミス・ローズの協力を得て翌年から広島の家ワークキャンプを行った。同ワークキャンプ参加者の一人が後年妻を亡くしたフロイドの伴侶となった54回生のシュモーター・山崎富子さんだった。

富子さんはミス・ローズが代表だったAFSC日本支部の職員として勤務され、国際学生セミナーなどを担当しておられたが、そのセミナーのリユニオンが開かれたのを機に本年5月に来日され、校友会総会にも出席くださった。

F・シュモーターは、生涯の大半をシ

番組は8月4日(土)NHK Eテレ「ETV特集」枠で放送予定

普連土たより 学校近況

百七十一信

4月6日に、今年も131名の新中一生徒を迎え、学園は新たな年度を迎えました。

今年はいしぶりに留学生として高2に3名、ドイツからサーラ・ゾバーニさん、マレーシアからノーアザリ・ナガザリさん、アメリカからザラー・ナザフィさんを迎えています。近年は留学生も授業や学園祭でのプレゼンテーションも行い、活発に文化の交流、紹介を行って来ています。

◎今年度の教職員の異動は以下の通りです。

- 【新任】
- ☆非常勤講師 理科 加藤 芳幸
  - ☆非常勤講師 社会学 松山 章子
  - ☆非常勤講師 数学科 山田 明弘
  - ☆非常勤講師 数学科 本田佐和子
  - ☆非常勤講師 数学科 太田 千津
  - ☆非常勤講師 理科 是澤 哲生
  - ☆非常勤講師 保健体育科 小林ノリコ
  - ☆非常勤講師 英語科 坂本美佐子
  - ☆嘱託 カウンセラー 吉田 伸子
  - ☆理科助手 村上久美子
  - ☆契約専任職員 近藤 美和

【異動】

☆事務次長から事務長へ 福澤 礎之  
 ☆事務次長から事務次長へ 藤田 善行  
 ☆非常勤講師から専任教諭へ

☆育児休業からの復帰 田中真梨乃 潮田 悦子

【退職】

☆専任教諭 鈴木 太朗 (理科)

☆非常勤講師 山田 美緒 (社会学)

☆非常勤講師 高田 羽純 (保健体育科)

☆特別非常勤講師 ケイラ・アレン (英語科)

☆非常勤講師 高野 継大 (数学科)

☆非常勤講師 田代 優歩 (数学科)

☆非常勤講師 田中 映里 (理科)

☆非常勤講師 喜納真由美 (保健体育科)

☆非常勤講師 宮崎 優 (保健体育科)

☆専任職員 矢持由梨乃

☆カウンセラー 桑本佳代子

☆理科助手 飯沼 勉

☆職員 能男先生記 (浜野)

春の  
 関西フレンド会  
 112回生 森本真祐子

4月中旬、満開の花水木が綺麗なウエスティン都ホテル京都にて、今年度の関西フレンド会が開催されました。今年は49〜112回生が京都・滋賀・大阪・兵庫、そして以前関西に在住されていた方も東京から参加され、計12名が集いました。本部から富山会長と赤木副会長も参加いただき、学校の近況と130周年記念事業について報告がありました。

校友が集まると懐かしい母校の雰囲気が流れ、和やかなひと時を過ごすことができました。参加者の年代は様々ですが、母校の思い出を分かち合えるこの会があることを大変嬉しく思います。秋にも会の開催を計画しています。関西在住の校友生の方は、是非一度参加されてはいかがでしょうか。



125回生  
 新任幹事紹介

GWに普連土の友人と会い、時間が経つのを忘れて話続けました。125回生の健康と幸せを祈っています。(高橋信乃)

卒業して、より一層普連土が好きになっていきます。校友生として普連土に貢献したいです。(山村朋子)

校友会の皆様、力仕事はお任せを。125回生の皆様、私がある限り普連土を忘れさせません。(川澄真彩)

普連土学園で過ごした日々を懐かしく思う毎日です。6年分の感謝を返していきます。(島田菜会)

いつでも、気兼ねなく集まれる場所を守っていきます。(中谷夏巳)

学園の温かい環境と125回生との強い絆に感謝する日々です。この絆を繋げていきたいです。(堀優花)

# 校友会だより

## ◆バザーのお知らせ

日時 11月10日(土)

バザーは後援会との共催です。同封のチラシの要領で献品等のご協力をお願いします。



## ◆校友会クリスマス礼拝

日時 12月8日(土) 11時～14時

場所 普通連士学園A音楽室



礼拝では「ハレルヤ」を歌います。その後、生徒ホールで親睦会。皆様の参加をお待ちしています。申込不要。

## ◆事業委員会よりお知らせ

●バス旅行のご案内  
「この秋！芸術も美食も紅葉も！」左記の様に箱根へのバス旅行を企画しました。ご参加をお待ちしています。

日時 10月4日(木)

集合・解散 田町駅西口三菱東京UFJ銀行前8時30分集合～17時30分解散予定

参加費 5000円(施設入場料・昼食代含む)

旅程 箱根湿生花園↓ポーラ美術館(昼食)↓箱根神社・芦ノ湖畔散策↓鈴廣かまぼこの里↓田町帰着  
申込み 校友会事務局宛に次の項目を記入しFAX(03-3451-1959)でお申し込み下さい。

・タイトル 「2018年バス旅行申込」  
・氏名・回生  
・生年月日・  
携帯電話番号  
(当日連絡可の電話番号)  
※電話申込み不可



支払い 参加費を「三井住友銀行三田通支店普通連士学園校友会事業資金普通6594837」宛にご送金下さい。

※9月26日(水)以降のキャンセルは参加費返却不可。  
詳細問い合わせ 校友会事務局  
火～金の11時～15時

## ●落語の会

日時 2019年2月23日(土)  
詳細は未定。後日お知らせします。

## 訃報

謹んでお知らせ申し上げます。心より哀悼の意を表します。

旧職員 小池 幸	17	8	25
39 大野佐喜子(植村)	17	12	28
42 坪井 政子(利根)	18	2	5
46 大沢 光子(阿部)	17	10	
46 横山 晴子(大橋)	16	7	
48 青柳 敏(松野)	17	9	16
49 加藤 すゑ(稲賀)	17	12	21
49 藤井 敏子(西原)	18	2	5
49 森 雪野(岩本)	18	1	13
51 佐藤 節子(高橋)	15	2	23
52 A 北畑 耀子(戸沢)	17	9	27
52 B 今川 光子	16	12	8
53 藤井 理子(相場)	18	3	12
56 A 松本 近子	17	1	2
57 上妻 公代(松本)	17	12	11
59 斎藤久三代(中原)	17	12	26
63 山田 久代(宇治田)	17	12	26
68 高野 路子(佐藤)	17	12	26
68 大竹 佳代(江橋)	17	12	26
73 脇田 英子(宮沢)	14	12	3
77 柳瀬 順子	17	12	3

校友会より、お花とお悔やみカードをお送りしました。



## 編集後記

今号から題字を少し変え、聖句に因み葡萄柄で囲み、校章を入れました。また100号のみカラー頁を設けました。

今号を発行するにあたり、過去の会報全てを読み、アイデアを出し合いました。同じ学園で時を過ごした方々の作業は新しく学ぶことも多くありました。その充実した時間を持てたことに感謝しています。

転勤生活の各所に必ず届く会報。夢中で何度も読み返し、学園との繋がりをとても嬉しく思いました。これも前任者たちが「人のために役に立つ」という普通連士の教えを守り努力を続けてきたからだと思います。

これからも世代の異なる校友生が集まり、皆様に楽しんでいただける会報にしたいと思います。100号を心を込めてお届けします。



千田(53)・入江(65)・鈴木(66)・森本(72)・渡邊(94)・白井(105)

## ◆2019年のホームカミング

対象回生は99・104・109回生です。ご協力くださる方は、直接畠中先生又は校友会事務局までご連絡下さい。

スマートフォンやタブレット端末からQRコードを読み取る校友会ホームページにアクセスします



このページの内容についてのお問い合わせは、校友会事務局(03-3451-7700)まで。